

科目名 (Eng)		情報処理基礎(Basic Information Processing)							
担当教員		高橋 章							
対象学年等		学科・専攻・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
		機械工学科	2	後期	必修	1	(30)	専門	B
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(B-3). (B-4). (D-2). (E-2).								
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2). 4). 5).								
授業の概要と方針		コンピュータの演習を通して、オペレーティング・システム、2進数、C言語の学習を行う。							
到達目標		①オペレーティングシステムの意味と操作法がわかる。②2進数の意義がわかる。③アルゴリズムがわかる。④C言語の文法がわかり、簡単なプログラムを作成できる。							
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容					事前学習	
後期	16	オペレーティング・システムについて	WindowsおよびUNIXの操作法					毎週の授業計画を確認し、事前に配布されるプリントで予習すること。	
	17	C言語と他のプログラミング言語について	それぞれのプログラミング言語の特徴						
	18	ソース・プログラムの作成方法とコンパイル方法	UNIXエディタの使い方						
	19	C言語文法(1)	標準出力関数printf()と変換指示子						
	20	C言語文法(2)	データの型と範囲, 2進数						
	21	C言語文法(3)	変数の使用と算術代入文						
	22	後期中間試験	授業内容の再確認、50分の試験						
	23	C言語文法(4)	答案の確認、条件による場合分け						
	24	C言語文法(5)	繰り返し						
	25	C言語文法(6)	配列の使い方						
	26	C言語文法(7)	文字型配列						
	27	プログラミング演習(最大値を求めるプログラム)	アルゴリズムとソース・プログラムの作成および実行						
	28	プログラミング演習(ソート①)	アルゴリズムとソース・プログラムの作成および実行						
	29	プログラミング演習(ソート②)	デバッグと改良						
30	総括演習	答案の確認と授業内容の再確認							
試験について		中間試験は授業時間中に50分で、期末試験は50分で実施する。							
評価方法		定期試験の成績を80%、小テストの成績を20%として評価する。							
教科書		プリント使用							
参考書		はじめてのLinux、細原 豪訳・改訂、露出版、すぐわかるC/C++、塚越一雄、技術評論社、わかりやすい情報技術基礎、コロナ社							
関連科目		情報処理Ⅰ, 情報処理Ⅱ							
履修上の注意		コンピュータの学習は、基礎知識を得た上で、使いながら覚えることが多い。復習を繰り返し行って十分に理解すること。							